

経営比較分析表（令和4年度決算）

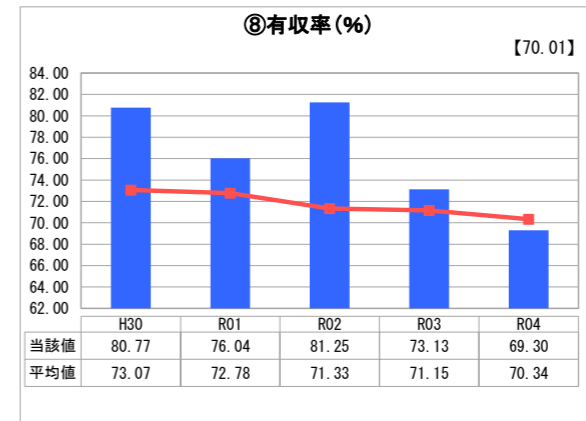
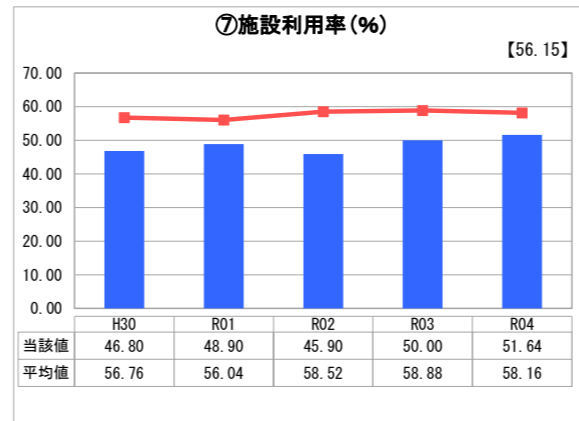
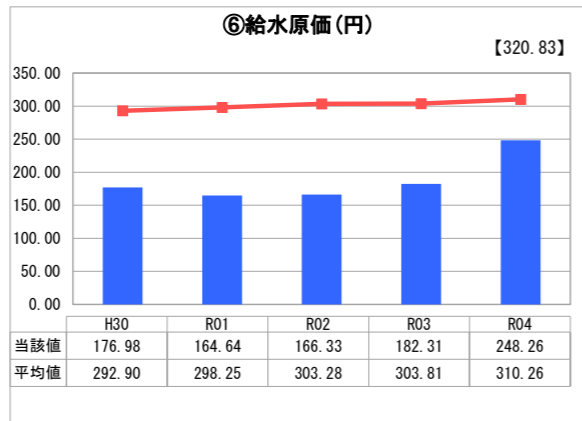
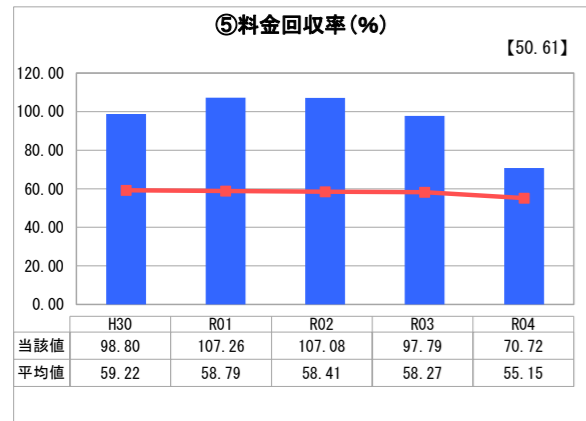
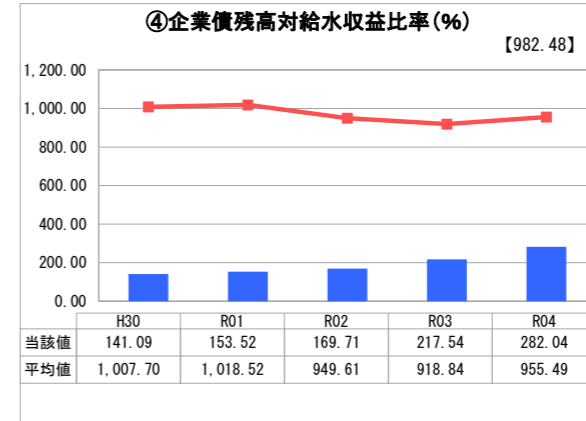
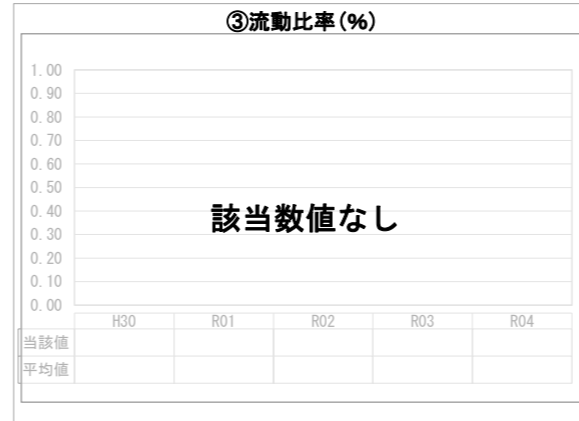
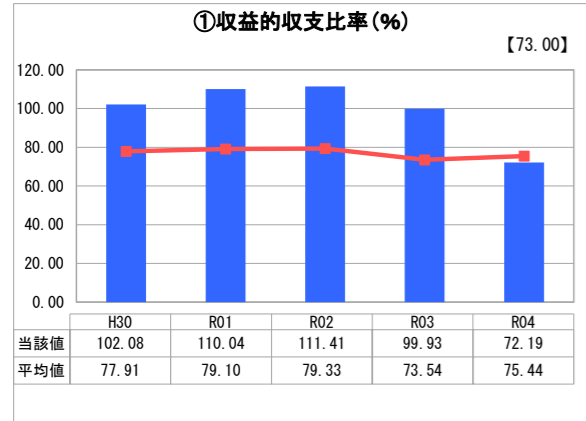
佐賀県 太良町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	51.10	3,080	

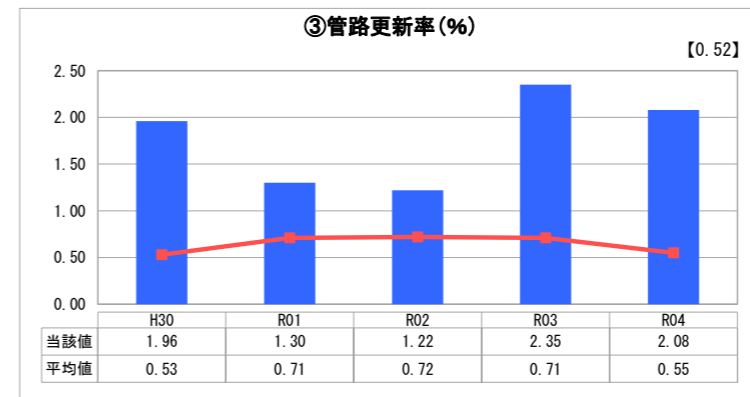
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,256	74.30	111.12
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,187	16.76	249.82

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、公営企業会計への移行に伴う打ち切り決算による料金収入が例年に比べ減少したと考える。今後、給水人口の減少に伴う収益の減少は否めない。収益的収支比率を向上させるため健全経営に努める。

④類似団体・全国平均値と比較してかなり低指標であるが、令和元年度から企業債を活用し、計画的な施設更新を図っているため、今後は増加する見込みである。

⑤料金回収率については、公営企業会計移行に伴う費用の増加により減少したと考える。

⑥過去4年と比較すると若干、増加している。給水人口の減少に伴い収益は減少していくため、維持管理費の見直しなど経営改善が必要と考える。

⑦類似団体・全国平均値と比較して低指標である。適切な施設規模を把握し、計画的な検討が必要と考えられる。

⑧低有収率地区の管路更新をすることで全体的な有収率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

③類似団体・全国平均値を上回る指標となっているが、令和5年度より企業会計に移行したことにより、有形固定資産減価償却率・管路経年化率が見える化し、更なる検証を行い、今後も計画的な管路更新を実施し、老朽管の改善に努める。

全体総括

本町の簡易水道事業は6地区の簡易水道施設と7地区の飲料水供給施設から構成されている。地理的な要因もあり、施設の統廃合は見込めないが、施設毎のダウンサイジングを検討し、適正な規模にし、限られた収益での健全経営に努めていく。